町民と結ぶ架け橋　　No.88　令和２年８月１日
教育委員会だより

えりもしゃくなげ

発行者 教育長 川上松美 ㈹01466-2-2525
http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h940000000pqh.html

町内の小・中・高の情報通信機器（校内ラン）と小・中の児童生徒１人１台端末を整備。６月議会で予算が可決され、今後、整備に取りかかります

①情報通信機器の整備

・各学校においては、児童生徒一人一人が活用するため、高速インターネットに対応したケーブル整備など、校内ランの整備を進めてまいります。

②先生方の講習等の対策

・先生方が目的に応じて活用できるよう、アドバイザーや地域人材（町内有識者）を講師として招聘し、講習会を行ってまいります。

③推進委員会の発足

・教育委員会では、先生方が有効に活用するために、学校代表６名と地域人材（有識者）からなる「えりも町教育ＩＣＴ（情報通信機器）推進委員会」を組織して、活用の在り方を研究し学校に普及してまいります。

④家庭学習への活用

・家庭学習で端末の活用を図るためには、家庭におけるＷｉ－Ｆｉ環境が整備されていることが必要です。調査した結果から、現在、町内では35世帯が設置されていない状況にあります。そのため、未設置世帯の状況を把握し、対策を検討してまいります。

『えりも町教育ＩＣＴ推進委員会』を立ち上げ、講師とオンラインで結び、第１回目の学習会を７月21日に開催

○本委員会は「町内の各学校が情報通信機器・端末などの教育ＩＣＴを教育活動に効果的に活用するため」を目的としています。

○推進委員会のメンバー６人を紹介します。

・委員長　　櫻井　亮（笛舞小学校長）
・副委員長　佐藤裕哉（えりも小学校教頭）
・委　員　　佐々木将道（地域人材、有識者）
　　吉田貴弘（東洋小学校教頭）
　　熊谷　真（えりも岬小学校教頭）
　　池原慶志郎（庶野小学校教諭）
　　菊地大助（えりも中学校教諭）
・事務局長　大澤香奈枝（学校教育係長）

敬称略

○講師には、ＣＣＳ（中央コンピュータサービス）様が会場で説明し、札幌チエルの佐藤様とオンラインで結び、端末予定（クロームブック）について説明、質疑を行いました。

○特に「効果的で持続的な１人１台環境を実現」の活用方法などについて学びました。

～がんばる先生・がんばる子供たち～
○タブレットを活用して　モニターに写し、学習が一層充実○
えりも小５年生と担任の菊地先生

○写真は、先日７月17日（金）に「連携型学校力向上に関する総合実践事業」で全学級が公開しました。写真は、がんばる５年生と担任の菊地里美先生、社会「未来を支える食料生産」の授業風景です。新潟県南魚沼市の地図を映し、農家の場所をモニターで拡大して見せていました。極めて効果的なタブレットの活用です。

○その他に、各校の授業では、書写の筆順指導の映像や、児童のノート発表の説明など、実物投影機や端末機器を活用した授業展開が積極的に行われています。